

芸術鑑賞会「ジャンヌ・ダルクージャンヌと炎」

11月14日（月）、中高合同の芸術鑑賞会が実施されました。今年は、東京演劇集団「風 KAZE」による『ジャンヌ・ダルクージャンヌと炎』を鑑賞しました。



『ジャンヌ・ダルクージャンヌと炎』

時は600年前のフランス。豊かで美しい国だったフランスは、権力と富を手に入れようとする人間たちにより、戦争と貧困に巻き込まれていく。そしてペストの蔓延。土地は廃墟と化すなかで、疲れ果てた人間たちはキセキを待つよりなかった。羊飼いの娘ジャンヌ・ダルクは、神の声に従い軍隊を率いて数々の戦いに勝利していく。しかし、ジャンヌは政治の犠牲となり“魔女”の烙印を押され、火刑に処せられることになる。「私の声が聞こえますかー」、自らの内に聞こえた声を否定する事を拒否し、ジャンヌの“信念”は、伝説となって人々のなかに生き続ける。

生徒たちは、劇団員の皆さんの迫力のある演技に、ところどころ歓声をあげながら見入っていました。これからも、たくさんの芸術に触れて、感性を磨いてほしいものです。

